

長良川河口堰検証プロジェクトチームにおける、中部地方整備局への質問事項

長良川河口堰検証プロジェクトチーム専門委員会委員 蔵治光一郎

質問1.

平成23年6月22日に貴局ホームページに掲載された「長良川河口堰検証公開ヒアリング(H23.6.8)の資料について(事実誤認)」3ページ「木曽川水系年降水量の経年変化」について質問します。

- (1) このグラフに赤い直線で示されている減少傾向は統計的に有意な傾向であるかどうか、説明してください。
- (2) このグラフに示されている減少傾向について検証されている査読付きの学术论文があれば、紹介してください。
- (3) このグラフの下に、雨量観測所として以下の地点がリストされていますが、すべての地点で昭和21年から平成20年までのデータが完全に揃っているのでしょうか。もし揃っていないのであれば、それぞれの地点で、どの年のデータをこのグラフの元データとして使用したのか、表で示してください。

(木曽川) 藪原,西野川,福島,玉滝,三浦,三留野,福岡,笠置,黒川,高根,胡桃島,湯屋,下呂,大原,小川,和良,(神測),三川,(上麻生),開田(気),付知(気),中津川(気),金山(気)

(長良川) 大鷲、那比、太之田、中切、洞戸、葛原、八幡(気)、美濃(気)、岐阜(気)

(揖斐川) 徳山、(春日)、金原、多良、(牧田)、揖斐川(気)、樽美(気)、関ヶ原(気)

- (4) 上で示していただいた表に、それぞれの地点における各年の年降水量を、小数点以下第一位まで示してください。データに欠測が含まれる地点については、それぞれ、何年が欠測年であるか、あわせて示してください。
- (5) これらの雨量観測点の各地点別、各年のデータから、このグラフを描くもとになっている年降水量の数値を、どのように計算されたのか、詳細に示してください。
- (6) 木曽川水系の流域内にはこれらの雨量観測点以外にも、雨量観測地点がありますが、すべての雨量観測地点の中から、ここに示された地点だけを選択した理由について、示してください。

質問2.

平成23年6月22日に貴局ホームページに掲載された「長良川河口堰検証公開ヒアリング(H23.6.8)の資料について(事実誤認)」4ページ「近年の少雨化傾向を踏まえて平成16年に見直した、木曽川水系水資源開発基本計画における水需給バランス」について、質問

します。

- (1) 「昭和40年代に行われたダム等の計画は、昭和17年～昭和42年の河川流量を基に供給が可能と見込まれる水量を設定したが、平成16年フルプランでは、近年の少雨化傾向を踏まえ、昭和54年～平成10年の20年間の河川流量を基に安定供給可能量を設定」とありますが、昭和17年～昭和42年の26年間と昭和54年～平成10年の20年間で、どの地点の、どのような河川流量が（年総流量か、平水流量か、低水流量か、渇水流量か、など）、どの程度、異なっていたのか、数値を具体的に示してください。
- (2) 昭和17年～平成17年*の64年間について、どの地点の、どのような河川流量が（年総流量か、平水流量か、低水流量か、渇水流量か、など）、どのように連続的に変化してきたと考えているのか、全期間、連続したデータを、1枚の図または表にして示してください。
*国土交通省土地・水資源局水資源部「木曾川水系における水資源開発基本計画定期点検とりまとめ」（平成22年9月）には、「点検にあたり、平成11年から平成17年までの7年間分のデータを追加した」という記述がありましたので、平成10年までではなく、17年までとしました。
- (3) 上で示していただいた、昭和17年～平成17年*の河川流量の変化を説明する要因として、どのような要因が考えられるのか、自然的要因、人為的要因に分けて、科学的に説明してください。

質問3.

国土交通省土地・水資源局水資源部「木曾川水系における水資源開発基本計画定期点検とりまとめ」（平成22年9月）について質問します。

- (1) 3ページに、「総合水資源管理の具体化に向けて」という項目がありますが、総合水資源管理とはどのようなものだとお考えなのでしょうか、示してください。
- (2) 総合水資源管理の具体化について、今日に至るまで、具体的にいつ、どのような検討を行ってきたのでしょうか、示してください。
- (3) 総合水資源管理の具体化に向けて、今後、どのような予定で進めるつもりか、行程表を示してください。

以上